

## 令和3年度4月例会報告

- 日時 令和3年4月28日(水)
- テーマ 岩名運動公園から臼井城址公園へ
- 集合 内郷児童公園(京成佐倉駅北口)
- 出発時間 9時20分
- 距離 11キロ
- 参加者 24名
- 到着時間 12時30分(京成臼井駅北口)
- 案内役 リーダー:庄司 智光、サブリーダー:小川 保子
- コース ①内郷児童公園⇒②岩名仁王尊⇒③岩名運動公園⇒④飯野観音⇒⑤ふるさと広場⇒⑥常楽寺(藤の寺)⇒⑦臼井城址公園⇒⑧雷電為右衛門の墓⇒⑨京成臼井駅(解散)

昨年12月から4か月ぶりの例会、爽やかな晴天の青空で、絶好の歩こう会日和です。

集合場所である内郷児童公園に到着すると、大勢の人が集まっています。いつの間にか、こんなに会員が増えたのか？ と思ったら、なんと「船橋歩こう会」の皆さんの集合場所もここだったのです。

船橋歩こう会の皆さんは、佐倉城址公園から武家屋敷を回るコースとのこと。私たちは、岩名運動公園から佐倉ふるさと広場、臼井城址公園を目指します。

途中、岩名の不動尊を探して迷子になっておられる方と出会い、急遽、コースを変更して、岩名仁王尊までご案内することにしました。歩き慣れたコースでもあり、臨機応変に道順を変更しても問題ありません。岩名仁王尊は、玉泉寺仁王門内に安置されている木造金剛力士像で、鹿島川を漂流していたものを、岩名の人々だけが軽く持ち運びすることができたという伝説が残されています。

岩名仁王尊で参拝を終え、岩名運動公園に回り、「小出義雄記念陸上競技場」前にて、一休み。

その後、飯野観音から佐倉ふるさと広場へ。残念ながら、チューリップ祭は終わっていましたが、印旛沼を背景に青空の中に浮かぶオランダ風車は、いつ見ても絶景です。

ここから臼井城址公園を目指しましたが、途中、藤のきれいなお寺があるとの情報を得、ちょっと寄り道。そのお寺は、「常楽寺」といい、うすい花の八ヶ寺の一つで、実は、知る人ぞ知る藤棚の名所だそうです。少し見頃は過ぎていましたが、それでも美しく見事な藤が咲き誇っていました。

佐倉には、まだまだ私たちが知らない名所が、たくさん、あるんですね。

臼井城址公園で休憩後、雷電為右衛門の墓へ向かいました。

雷電は、江戸相撲最強の力士ですが、巡業中に出会った臼井宿の甘酒茶屋の看板娘おはんと結婚し、引退後は臼井で余生を過ごしています。雷電の命日、2月11日には毎年、「佐倉雷電祭」が開催されています。

雷電の墓は全国に4ヶ所ありますが、家族3人が一緒に供養されているのは、ここだけだそうです。

コロナ禍の中、4か月ぶりの例会ということで、今回は、久々の佐倉市内のコースとなりましたが、新たな出会い、発見などもあり、充実した1日となりました。

(報告 伊香賀)

